

ドローン撮影料金表

	写真・動画撮影	備 考
撮影料金	¥20,000～/1日 (税別)	パイロット1名(※国家資格保有)の人件費を含みます。 二等無人航空機操縦士 限定解除取得：夜間飛行、目視外飛行
カット数	機材能力の範囲内で承ります。	
動画編集	別途お見積り(外注)となります。	
撮影機材	 DJI MATRICE 300RTK ZENMUSE H20T 1フライト：30～40分(バッテリー交換で時間延長) 気象・機材の状況により、フライト時間が変わります。	 撮影状況を大きなモニターでリアルタイムに確認・指示できます。
附帯機材	 CSM Radar  円形走査ミリ波レーダーにより、撮影間の安全対策を更に強化できます。 ペイロードとして搭載することから、飛行可能時間が最大35分程度(気象条件によっても異なります)になります。 検知角:水平方向360° 垂直方向60°、上方向45° 検知距離:1.5～30m	 D-RTK2 高精度のGNSSモバイルステーションで、4つの全球測位衛星システム(GPS/GLONASS/Beidou/GALILEO)に対応し、11種類の衛星信号を受信します。 ドローンヘリアルタイムに補正データを送り、cmレベルの測位精度を実現できる、移動型のRTKステーションとしての役割を担います。

注：消費税率：10%

	写真・動画撮影	備 考
ロケハン (オプション)	請求総額の50%(税別)	事前に現地で撮影ポイントや電波障害、危険個所などのチェックを行いながら、打合せさせていただくことにより、安全性が向上するとともに、目的に沿った撮影を可能とするため、できるだけロケハンをお勧めしています。 ※ 撮影場所により、別途交通費が加算される場合があります。
安全運行 管理者の 配置	¥15,000(税別)／1人	安全運行管理者の配置は、航空法に基づき、人口密集地域(DID)上空における飛行、目視外飛行、夜間飛行では必需となります。 また、撮影場所の状況によっては、安全上確保の為、配置が必要となる場合及び複数の配置が必要となる場合があります。
交通費	一般道で往復距離が150Kmを超える場合、有料道路を利用する場合、相談させていただきます。	一般道は、事前に図上で調査した走行距離で算出して適用します。 弊社指定G/Sの1リットルあたりのガソリン価格／13Kmで算出有料道路は、利用区間の実費となります。
宿泊費	前日移動が必要な場合及び撮影が複数日にまたがる場合等に加算(実費)されます。	
撮影時間 (参考)	現地打合せから機材の撤去まで、1時間～半日程度(3フライト程度／1箇所)です。 (使用機材のセッティング、撮影の要領、現地におけるデータ確認所要により異なります。)	
保 険	対人・対物共通10億円の賠償保険に加入済み。	
お見積り	撮影のお見積りは、航空法、小型無人機等飛行禁止法、飛行させる自治体の条例及び関係法規等の規定を踏まえて、お客様と打合せさせていただきます。	
撮影した データの 納品	撮影したデータは、CD-R／DVD等のリムーバブルメディア(可搬記憶媒体)に保存して当日、現地でお渡しまたは後日、郵送等により納品させていただきます。 お客様がUSB等を準備された場合も対応可能です。	

注：消費税率：10%

ロケハン：ロケーション・ハンティング

航空法への対応	機体登録	無人航空機の機体登録(国土交通省航空局)済み。
	リモートID	無人航空機の識別情報を電波で遠隔発信する機能を処置済み。
	点検・整備	毎年、メーカーによる定期点検を受検するほか、20時間飛行点検、飛行時の日々点検を行い安全を確保しています。
	飛行に関する許可・承認	毎年、無人航空機の飛行に係る許可・承認を取得しています。 (国土交通省東京航空局) ① 人口密集地域(DID)飛行 ② 目視外飛行 ③ 夜間飛行 ④ 人又は物件と30m以内での飛行 国土交通省航空局標準マニュアルを遵守しています。
	飛行の制限及び禁止	国土交通省、防衛省、警察庁、都道府県警察又は地方公共団体の消防機関、その他の関係機関の使用する航空機のうち捜索、救助その他の緊急用務を行う航空機の飛行の安全を確保する必要があるものとして、国土交通大臣が指定する空域(緊急用務空域)、原則として空港等の周辺(飛行禁止空域が設定)、第三者の上空、高速道路や新幹線等の上空及びその周辺などは、飛行させることができません。 また、機材の運用限界を超えないこと、気象、撮影(飛行)する周囲の状況などに応じて、更に安全への配慮が求められます。

ドローンの飛行ルール

① 飛行禁止空域

① 空港周辺

② 緊急用務空域

③ 150m以上の上空

④ DID(人口集中地区)

※ ①～④の空域で飛行させたい場合には、国土交通大臣の許可が必要です。詳細は国土交通省航空局HPへ！
※ 空港周辺、150m以上の上空、DID(人口集中地区)上空等の飛行許可(包括許可あり)があっても、緊急用務空域で飛行させることはできません。

⑤ 国の重要な施設等の周辺

⑥ 外国公館の周辺

⑦ 防衛関係施設の周辺

⑧ 原子力事業所の周辺

※ 国会議事堂、首相官邸、危機管理行政機関、最高裁判所、皇居・御所、政党事務所等
①、⑤～⑧の施設の周辺で飛行させたい場合には、施設管理者等の同意や都道府県公安委員会等への事前通報が必要です。詳細は警察庁HPへ！

② 飛行空域を問わず順守する必要があるルール

※下記のほか、飛行前確認、衝突予防が必要になります。

① 飲酒後の飛行禁止

② 危険な飛行禁止

③ 夜間での飛行

④ 目視外飛行

⑤ 距離の確保

⑥ 離し場所での飛行禁止

⑦ 危険物輸送の禁止

⑧ 物件投下の禁止

※ ③～⑧の方法によらずに飛行させたい場合には、国土交通大臣の承認が必要です。

キャンセルポリシー

お客様の都合により、撮影をキャンセルされた場合には、以下のキャンセル料をご請求致します。

	キャンセル料（ご請求額：税別）	摘 要
撮影日の8日前	キャンセル料不要 ただし、実費を伴う書類手続き等に着手している場合には、その支払い費用を申し受けます。	
撮影の7日～4日前	お見積金額の 20%	
撮影の3日～2日前	お見積金額の 50%	
撮影の1日前	お見積金額の 80%	
撮影当日	お見積金額の100%	
当日の天候不良や機材の不具合など、 <u>お客様の都合ではない日程の変更や延期</u>	キャンセル料不要	お客様に瑕疵がない場合となります。
<u>日程の変更や延期が行えない撮影で、当日の天候不良による撮影の中止</u>	お見積金額の 50%	お客様の都合によるほか、特定の日程に行われる行事等も該当します。

注：消費税率：10%

撮影で使用する機材の特徴

MATRICE 300 RTK



ZENMUSE H20T

23倍ハイブリット
光学ズームカメラ
最大200倍ズーム



広角カメラ

レーザー距離計

放射分析サーマルカメラ

機体	展開寸法	長810×幅670×高430	CMOSセンサー	広角カメラ	ズームカメラ	赤外線サーマルカメラ
	重量 (バッテリーを除く)	3600g		12MP/1200万画素	20MP/2000万画素	12MP/1200万画素
	最大ペイロード	2700g	対角視野 (DFOV)	82.9°	66.6° ~ 4°	40.6°
	最大水平速度	23m/s	写真サイズ	4056×3040	5184×3888	640×512
	最大風圧抵抗	15m/s	写真フォーマット	JPEG	JPEG	R-JPEG
	最大前方飛行時間 (海拔)	45分	動画解像度	フルHD/207万3600画素 1920×1080@30fps	4K/829万4400画素 3840×2160@30fps フルHD/207万3600画素 1920×1080@30fps	約32万画素 640×512@30Hz
	動作環境温度	-20℃～50℃	有効画素数	12M	20M	—
スマート 送信機	最大伝送距離 (障害物・干渉なし)	8Km	動画フォーマット	MP4	MP4	MP4
	動作環境温度	-20℃～40℃	フォーカス	1m～∞	1m～∞ (ワイド) 8m～∞ (望遠)	5m～∞
バッテリー	正味重量 (1個)	約1.35Kg	レーザー測距計	測定範囲：3～1200m (径12mの垂直反射面、反射率20%)		
	動作環境温度	-20℃～50℃ (理想16℃～20℃)	カメラ重量	828±5g		
	低温環境での 自己発熱	自動ウォームアップ	動作環境温度	-20℃～50℃		

注：記載数値は、カタログに掲載されている数値です。